

人間関係論

責 任 者・コーディネーター	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教		
担当講座・学科(分野)	心理学・行動科学分野		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20時間(10コマ)
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・ねらい

「どうすれば良好な人間関係を築くことができるか。」人は日々その方法を模索し、コミュニケーションの努力をしている。また、保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として、良好な人間関係を構築することが不可欠である。対象者とどのような人間関係を構築できるかが、援助の質を左右することにつながる。

本科目では、社会心理学の理論を中心に基礎知識を学び、周囲の人と良好な人間関係を築く力を修得することを目指す。具体的には、人間関係の基本である「自己の理解」「対人関係」「集団の人間関係」の3つの観点から、自己分析やグループワークによるアクティブラーニングを行う。また、小児科医療の実務者の講義を聴き、医療における人間関係の重要性について理解を深める。第7回と第9回の授業では、「ビブリオバトル」という書評ゲームを行い、各自の選んだ本の魅力を伝えたり聞いたりすることで相互理解を深める。

この科目を受講することで、良好な人間関係を築くための知識を身に付け、自己理解を深め、周囲から信頼される建設的なコミュニケーションの基礎力を身に付けることができる。

・学修目標

- (1) 自己概念について説明できる。
- (2) リフレーミングのスキルを実践できる。
- (3) 対人認知に関わる要因について説明できる。
- (4) アイデンティティについて説明できる。
- (5) アサーティブ・コミュニケーションについて理解し実践できる。
- (6) 集団意思決定について説明できる。
- (7) リーダーシップについて説明できる。
- (8) チーム医療における人間関係について説明できる。
- (9) 自身の読書体験から得た気づきや学びを他者に伝えること、また、他者の読書体験による気づきや学びを聴くことを通して、人間関係について考察を深め、自身の考えを説明できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-1-1 薬剤師に求められる倫理観とプロフェッショナリズム、B-1-2 患者中心の医療、
B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション、B-2-2 多職種連携、
F-5-1 医療・福祉・公衆衛生の現場で活動するための基本姿勢

・学修事項

- (1) 自己概念と自己評価を維持するための心の機能

- (2) リフレーミングの特徴とスキル
- (3) 自分と他者の特性を考慮に入れたコミュニケーション方法
- (4) 対人認知、対人魅力、対人葛藤に関わる要因
- (5) アサーティブ・コミュニケーション
- (6) 集団意思決定の種類と特徴
- (7) リーダーシップの種類と特徴
- (8) チーム医療における人間関係とコミュニケーションの役割
- (9) 人間関係に関連した書籍から得た気づきや学びの発表

・この科目を学ぶために関連の強い科目

多職種連携のためのアカデミックリテラシー、医療における社会・行動科学、心理学

・この科目を学んだ後につなげる科目

医療面接の基礎、チーム医療リテラシー

・講義日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/3	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#1 授業ガイダンス、自己の理解① 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 人間関係論を学修する意義について説明できる。 2. 自己概念について説明できる。 3. 自己評価に影響を与える要因について説明できる。 4. リフレーミングのスキルを実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べまとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
9/10	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#2 自己の理解② 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. MBTI(Myers-Briggs Type Indicator®)の基本理論について説明できる。 2. 自己と他者のタイプを考慮したコミュニケーションを実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べまとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。

9/17	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#3 対人関係① 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 対人魅力について説明できる。 2. 対人葛藤について説明できる 3. 親密な関係の維持と崩壊に関わる要因について説明できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
9/24	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#4 対人関係② 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 対人コミュニケーションのスタイルの種類と特徴を説明できる。 2. 自分のコミュニケーションスタイルを自己分析することができる。 3. アサーティブ・コミュニケーションについて説明できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
10/1	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#5 集団の人間関係① 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 集団形成について学び、集団の人間関係に関わる要因について説明できる。 2. 集団意思決定の種類を学び、それぞれの特徴について説明できる。 3. ブレインストーミング法、コンセンサス法を用いた集団の意思決定を実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
10/22	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#6 集団の人間関係② 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. リーダーシップの種類と特徴を説明できる。 2. リーダーシップのタイプを自己分析し、自分の強みと成長課題を把握できるようになる。

					3. チーム医療に求められるリーダーシップの特徴を説明できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べまとめる。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
10/29	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#7 ビブリオバトル（クラスマッチ） 【プレゼンテーション】 1. 自分が選んだ本についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. グループメンバーとの質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 事前学修：「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。自分のおすすめ本を選んでプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/5	木	2	教育教育センター 心理学・行動科学分野	澤田 なおみ 非常勤講師 香川 由美 助教	#8 医療における人間関係 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 小児科医療における Family-centered care について実務者の講義を聴き、医療における人間関係について説明できる。 2. 患者－医療者間コミュニケーションについて、自分の意見を述べるができる。 事前学修：チーム医療が必要とされるようになった社会背景について、自分の考えをまとめる。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/12	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#9 ビブリオバトル（ファイナルマッチ） 【プレゼンテーション】 1. 各クラスから選出された学生の発表を聴くことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. ファイナリストの発表を聴くことで、説得力のあるプレゼンテーション

					ヨンのポイントについて自分の意見を述べることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 事前学修 「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/19	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#10 まとめ 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1.これまでの講義で得た知識と経験をもとに、良好な人間関係を構築する目的と方法について、自分の考えを説明できる。 事前学修：これまでの講義を復習する。 事後学修：これまでの講義内容を総復習して WebClass の確認テストに取り組む。また、提示された課題について最終レポートを提出する。

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	◎
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	○
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	

・評価事項とその方法

【総括的評価】

- 各回の提出物（40%）、最終レポート（20%）、確認テスト（多肢選択式問題、20%）、ビブリオバトル（20%）で評価する。
- 提出物および最終レポートの評価基準は講義時に提示する。評価・コメントは WebClass にてフィードバックする。
- ビブリオバトルへの取り組みは、提出物およびクラスマッチでのピア評価、ファイナルマッチでの参加態度を評価する。

【形成的評価】

各回の講義内容に関する WebClass の理解度チェック問題に取り組み、理解度、到達度を確認する。正答・解説は回答後のフィードバックを確認する。理解度チェックの結果は成績には反映されない。

学修事項	DP	中間試験	レポート	確認テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～8	1,3		20					20
1～8	1,3			20				20

9	3					20		20
1～8	1,3						40	40
合計			20	20		20	40	100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	メディカルスタッフのための 基礎からわかる人間関係論	山蔦圭輔、本田周二	南山堂	2021
参	補訂版 社会心理学	池田謙一他	有斐閣	2019
参	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011

・特記事項・その他

- ・本科目では、人間関係を理解する上で役立つ社会心理学の知識およびコミュニケーション技術について、双方向授業やグループワークによって学ぶ。
- ・グループは、医学部・歯学部・薬学部・看護学部のメンバーからなる混成グループを作る。
- ・講義に関する疑問点や要望は、授業中および WebClass のフォームからできる。WebClass のフォームからの質問には、次の講義に教員から回答・解説を行う。
- ・ビブリオバトル：第 7 回授業および第 9 回授業にて、ビブリオバトル（本を紹介しあうグループワーク）を行う。第 9 回は「医療と法律」「医療と物語」「パーソナリティ心理学」と合同で行う。
- ・事前学修：シラバスに記載されている次の講義内容を確認し、授業で取り上げるキーワードについて参考書やインターネット等を用いて調べまとめておく。
- ・事後学修：講義内容を復習したうえで理解度チェック問題に取り組み、理解が不十分であった事項については配布資料、参考書等を用いて理解を深める。
- ・各授業回に対して、事前・事後学修に 90 分以上を要する。更に、レポート作成に 10 時間程度、確認テスト準備に 5 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

【その他】

- ・グループワークの実施方法については、感染予防を鑑みて、状況に応じて適宜変更する。
- ・成績開示方法：成績確定後、希望者には結果開示と講評をおこなう。
- ・当該科目に関連する実務経験の有無 有
小児科専門医から、患者・患者家族を支えるチーム医療（小児科医療における Family-centered care の実践と研究）について講義をいただく（第 8 回講義）。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Surface pro FJY-00014)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型 PC (EPSON MR4800E)	1	講義資料の作成